

平成31年度事業報告

公益財団法人国際協和奨学会が平成31年度(平成31年4月1日～令和2年3月31日)において実施いたしました事業につきまして、下記の通りご報告申し上げます。

1 公益目的事業

(1) 私費外国人留学生及び日本人海外留学生(以下、「留学生」と略します)に対する奨学金の支給

平成31年度(以下、「昨年度」と略します)において奨学金を支給した留学生は、13名に対して総額16,920,000円を支給しました。(詳細 別紙1)

(2) 学業報告について

昨年度において奨学金を支給した留学生から提出のあった学業の実績報告は別紙2の通りです。

(3) 令和2年度奨学生(第35回生)の採用について

令和2年度(以下、「本年度」と略します)より新たに奨学金を支給する留学生は、選考委員会において公正かつ厳正な審議及び第28回理事会の承認を経て、外国人留学生6名及び日本人海外留学生1名(第35回生)が採用されました。

なお、本年度において奨学金を支給する留学生は第34回生(平成31年度採用)と合わせて13名であります。(詳細 別紙3)

(4) 留学生に対する生活指導及び助言等

① 奨学金を支給する留学生に対しては、従来通り、毎月の奨学金支給日における面談等を通して、適宜、指導及び助言等を行いました。

② 研修会・オリエンテーション実施

昨年度は、令和元年7月6日に千葉県佐倉市において、国立歴史民俗博物館、佐倉城址公園、くらしの植物苑、ひよどり坂、武家屋敷、麻賀多神社を訪問・見学し、日本の歴史等を学んだ。

また、令和元年9月6日～7日に伊豆大島へバス研修旅行を実施し、三原山登山、星空観賞、ふるさと体験館において御神火太鼓体験、火山博物館、断層帯等、自然を満喫するとともに日本文化にも触れながら、奨学生の相互交流を図った。

令和2年2月20日の学業報告会に際しては、会場を星稜会館として、プロジェクターを使用し奨学生から詳細な報告がなされた。学業報告の後は、33回生の送別会を行い、奨学生間の懇親を深める機会も設けた。

(5) 資産の運用

基本財産(384百万円)の運用によって本年度は8,091,965円の運用実績がありました(年利回り2.107%)。

以上